



倉田 博之 議員

若者獲得に向け 意欲的・現実的 行動を!!

若者流入による まちの活性化

自動車整備士を目指す若者が減り、将来の人材不足が懸念される中、国は重大な問題として、支援策の検討に入った。

本市の自動車短大は若者流入の功績大。国の動向は好機で、これに乗じて入学者を増やし、まちの活性化に結び付けられないか。
短大の存在は不可欠。連携して充実を図る。ぜひこの機に積極的取り組みを進めたい。
市は若者獲得の意欲的な旗振りをすべき。短大の制度に上乘せや、市単独の支援はできないか。特に女性の学生獲得は重要な視点。
学校任せでなく市が



夢に向かって勉学に励む若者たち

医療費の抑制について

後発医薬品の使用シェア拡大を図る取り組みは。

後発医薬品差額通知の発送や各種啓発で切り替え促進を図る。
非正規雇用者の健診受診は雇用側の法的義務だが現実には厳しい。当該層の受診率向上を図る取り組みは。

更なるPRや雇用主へ受診の理解配慮をお願いしていく。
ロタウイルス胃腸炎は乳幼児がほぼ100%かかり外来利用多いならばワクチン接種の公費負担で医療費抑制できないか。罹患時の生活混乱や子どもの苦痛、医療現場の急患も減らせる。

指摘の可能性や利点はある。国が導入に向け効果や副反応を検証中で、市も動向に沿って考えていく。

中高年が通年行える軽運動は寒冷地では限定的。水中運動の健康効果は医学的にも明白で、介護段階の進行緩和は多額の給付金が抑制できる。市民による検討委員会からも要望を付された健康増進施設整備も含む水中運動の今後の方針は。

運動習慣者増加は目標で通年型の水中運動は有効。既存施設を活用しつつ、施設のあり方や事業を検討する。



車戸 明良 議員

中部縦貫道・丹生川IC (仮称)今夏工事開始！ 長野県側の狭いトンネル改良工事着手！

中部縦貫道高山清見 道路について

高山ICと丹生川IC(仮称)の建設工事の進捗状況は。

昨年度から工事着手し、用地買収は下切、松本、丹生川町地内において大部分を終えており、今年度は中切、上切町の用地買収を含め取り組む。工事については、丹生川町町方、坊方まで順次始める。

今年度の予算規模と丹生川IC(仮称)付近の工事予定は。

約50億で工事費27億、用地補償費16億など。坊方地内のICも今夏に着手する。

新張上野地区に計画されているチエーンベースに隣接して、道の駅のような施設を整備するとともに、そこへアクセスする周辺道路の整備を行えば、市内の渋滞緩和と地域活性化につながる。市の方向性は。

重要な路線であり、今回の工事の際行おうのが効果的なので、県へ強く要望していく。

長野県側の国道158号は狭いトンネルがあるなど道路事情が悪い。飛騨地域の経済発展にも重要。改良工事の取り組み状況は。

今年度から安曇地区でトンネル工事がはじまる。奈川渡ダムから下流部2・2kmの区間の道路改良となる。

高山市の景気動向

現実態調査をみると、高山市の平均初任給は大学卒で県平均より高く、高卒で全国平均より高くなってきている。景気と雇用の動向は。

徐々に景気が回復傾向にあり給与面にも反映していると推測。人口減少、生産年齢人口の減少で市内企業も求人難が懸念される。

学識経験者からなる「飛騨地域エコロード検討委員会」を設置し、ギフチョウ・ゲンジボタル・ヒメカンアオイ等の保護、保全に取り組んでいる。環境対策などを参考にきめ細かな配慮をする。

県道町方高山線は今回の中部縦貫道工事